

平成28年3月7日(月)配布

平成28年6月11日(土)・12(日)開催

平成28年度 青年・女性建築士の集い 中四国ブロック岡山大会

実施要綱

主催：中四国ブロック青年建築士協議会
中四国ブロック女性建築士協議会
主管：一般社団法人 岡山県建築士会

目次

1.大会趣旨	...1
2.大会スケジュール	...2
3.会場案内	...3
4.大会内容	
(1) 地域実践活動報告	...6
(2) 分科会	...9
(3) エクスカーション	...13
5.大会報告	...17
6.大会までのスケジュール・登録料・交通・宿泊等	...18

1.大会趣旨

大会テーマ

「伝統の継承」

大会趣旨

建築物・地域・技術・技法など建築には様々な場において多くの伝統が息づいていて、何十年、何百年という長い歴史の中で継承されてきました。その伝統によって作られたもの、守られてきたものがあり、その中で私達は暮らし、建築に携わっています。つまり伝統は私達にとって大きな財産なのです。

しかし今や技術革新や後継者不足、大量生産の時代により忘れ去られ廃れていく事も危惧されつつあります。伝統が失われるという事は技術や物だけでなく、その伝統に込められた思いや記憶、歴史さえも失われる事につながります。つまり伝統は物理的影響だけでなく、精神的影響も大きいのです。ではなぜ、伝統が重要であり継承する必要があるのか。それは伝統が永い年月をかけて積み重ねた知恵や技術が凝縮されたものであり、それらの積み重ねにより人と人との繋がりが、発展するものや豊かになる部分もあるからです。伝統が地域の核であったり、社会や生活に於いて必要不可欠な存在だと感じられるように、建築の世界に於いてもそれは同じで、それが生活の礎になっているのです。

先人たちが受け継いで来た様に我々建築士にはその伝統を学び、本質を知り、そしてそれを守り後世に伝えていく義務があるのではないのでしょうか。大会を通して建築に関わる伝統の重要性、素晴らしさを再認識し、伝統の継承について考え、行動するきっかけとなればと思います。



2.大会スケジュール

第1日目 平成28年6月11日(土)

[本大会]

- 大会会場：岡山市民会館 大ホール
分科会 会場：岡山市民会館 204 会議室
分科会 会場：岡山市民会館 大ホール
分科会 会場：岡山市民会館 4階大会議室
分科会 会場：ルネスホール(大会会場より徒歩8分)

12:00～12:45	受付・パネル&伝統工芸品展示見学	岡山市民会館	ロビー
12:45～13:15	開会式(0.5h)	岡山市民会館	大ホール
13:15～14:45	地域実践活動報告会(1.5h)	岡山市民会館	大ホール
14:45～15:15	参加者による投票・会場移動		
15:15～16:45	分科会(1.5h)	各分科会会場	
16:45～17:00	会場移動		
17:00～17:30	講評・閉会式(0.5h)	岡山市民会館	大ホール

[懇親会]

- 懇親会会場：ホテルグランヴィア岡山4階 大宴会場(フェニックス)
18:30～19:00 受付
19:00～21:00 懇親会・余興・各県PRタイム等

第2日目 平成28年6月12日(日)

[エクスカーション] (申込制 参加希望者のみ)

- 8:50 受付
9:00～12:00 頃解散予定(解散時間はコースによって異なります)
内容・集合場所等については13ページからのエクスカーションをご覧ください。

[中四国ブロック協議会 理事会]

- 理事会会場：岡山市民会館 4階大会議室
11:00～11:30 中四国ブロック青年建築士協議会(0.5h)
11:45～12:45 中四国ブロック青年・女性建築士協議会 合同理事会(1.0h)

3. 会場案内

本大会・分科会 ・中四国ブロック協議会理事会

会場名：岡山市民会館 大ホール・会議室

所在地：〒700-0823 岡山市北区丸の内2丁目1番1号

TEL：086-223-2165

【岡山駅より】：徒歩15分・車5分・路面電車 東山行き「^{しろした}城下」下車徒歩約3分

岡山中心部100円均一循環バス「めぐりん」(岡山駅前駅～^{しろした}城下)約5分+徒歩約2分

【岡山IC】：車約20分

大ホール客席内での飲食は禁止です
ロビー・会議室での飲物は可能です
喫煙は所定の場所をお願いします(館内禁煙)



分科会

会場名：ルネスホール

所在地：〒700-0824 岡山市北区内山下1-6-20

TEL：086-225-3003

【大会会場より】徒歩約8分

ホールでの飲食は禁止です



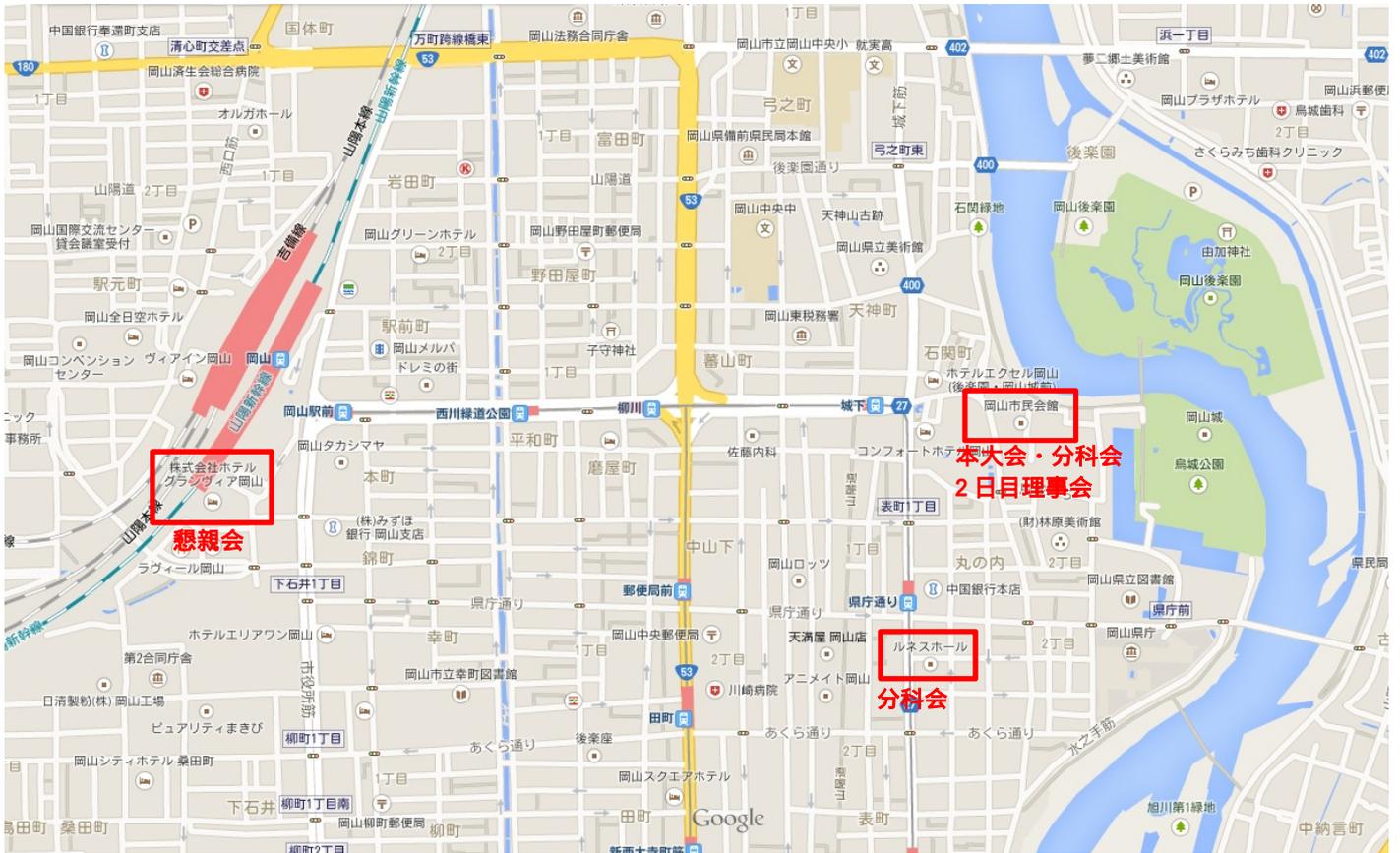
懇親会

会場名：ホテルグランヴィア岡山4階 大宴会場(フェニックス)

所在地：〒700-8515 岡山市北区駅元町1番5

TEL：086-234-7000



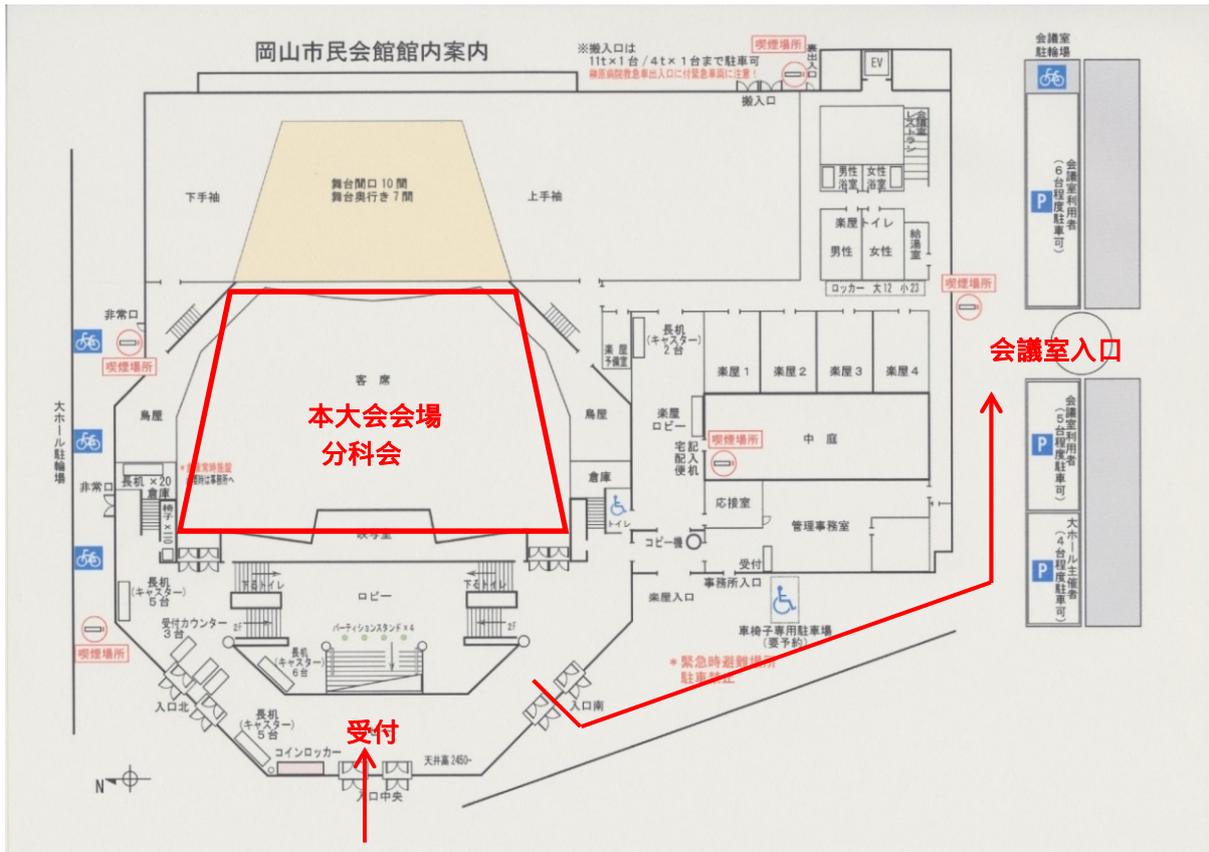


大型車で来られる場合はご相談ください

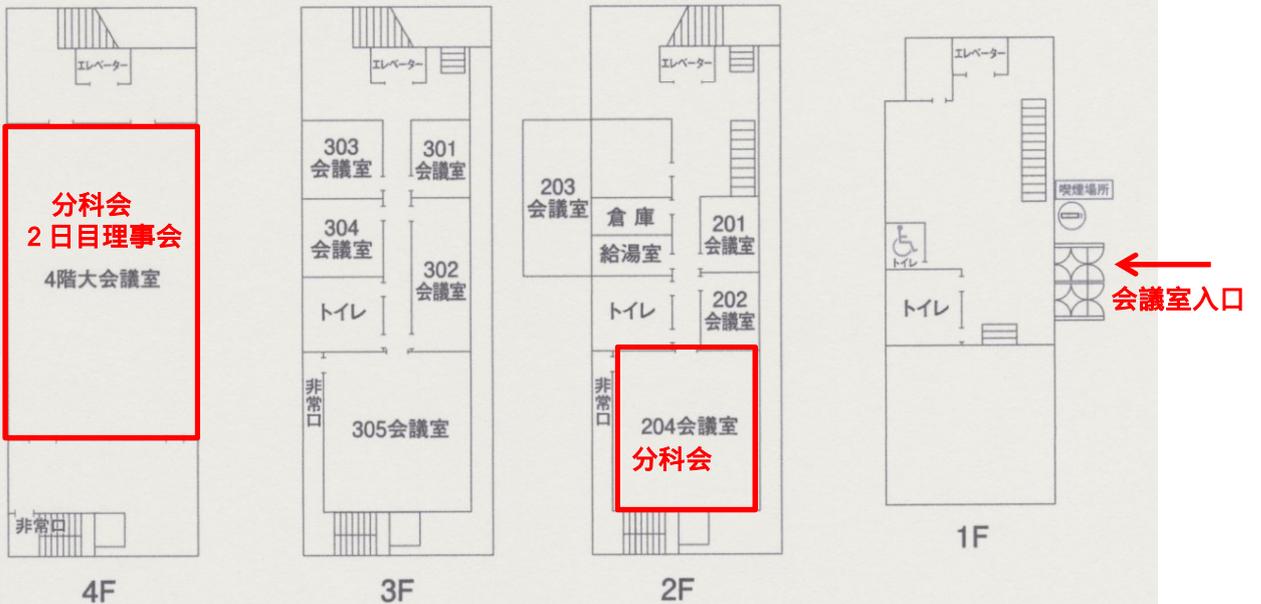
本大会会場の岡山市民会館には専用の駐車場がありませんので、お車で越しの場合、近隣のコインパーキングをご利用ください

懇親会にてホテルグランヴィア岡山地下駐車場をご利用の場合は、3時間の駐車券を発行しますので、当日 懇親会の受付にてお申し出ください

岡山市民会館のホールに、岡山の工芸品を展示しています。受付時並びに休憩時間内にご覧頂けたらと思います



館内案内図



4.大会内容

(1) 地域実践活動報告会

1. 発表対象

各県から1事業のエントリーとし、建築士会に所属する青年建築士もしくは女性建築士が地域について活動している内容とします。

2. 発表時間

1県につき発表5分+入退場2分の合計7分とします。

3. 報告会のタイムスケジュール

13:15～13:25(10分)	発表方法の説明 審査の説明(審査方法/審査基準/審査員紹介)
13:25～14:30(65分)	地域実践活動発表会 7分×9県+予備2分=65分
14:30～14:40(10分)	質疑応答、発表者は全員登壇 審査員による質疑応答・本審査は分科会にて行います。
14:40～14:45(5分)	閉会挨拶 会場移動案内

4. 発表順について

発表の順番は、開催県の岡山県を1番とし、残りの8県は平成28年4月28日(木)締切の発表書類【発表要旨】を受付した順番とします。

5. 審査について

(1) 審査方法

- ア. 審査員による採点の合計と、参加者の投票による投票配点数を合算したものとします。
- イ. 審査員については、分科会での質疑応答の内容を加味した採点とします。

(2) 審査基準

地域実践活動報告会の審査は、次に掲げる5項目に留意します。

継続的活動 着想・コンセプト 地域貢献・地域連携
プレゼンテーション(展示パネルを含む) 今後の展開

(3) 審査員の選出

- ア. 各県から1名ずつ推薦された審査を行うに相応しい会員とします。
- イ. 上記各県からの審査員(9名)に加え、その他1名の特別審査員を置きます。

(4) 審査配点

ア. 審査員の配点

審査員1名につき、審査基準の1項目あたり5点満点で計25点満点とします。

イ. 参加者の配点

- ・1名の持ち点を2票とし、2県へ1票ずつの投票とします。
- ・最多投票の県を50点とし、以下45点、40点、35点、30点、25点、20点、15点、10点とします。

ウ. 減点

- ・発表時間の超過が1分を超えた場合は10点の減点とし、さらに30秒を超えるごとに10点の減点とします。
- ・提出書類が期日内に提出されなかった場合は25点の減点とします。
提出書類とは、発表要旨・発表用データ・展示資料です。
提出書類の各期日は18ページの大会までのスケジュールにて確認してください。

(5) 結果発表

- ア. 最優秀県(全国大会での発表権利県)の発表は閉会式で行います。
- イ. 同点の場合は、特別審査員の点数の高い県を最優秀県とします。

6. 提出書類について

(1) 発表者・発表補助者および審査員の名簿

発表者1名以上および発表補助者1名(機械操作担当者)で発表グループを編成し、審査員を含めた登録名簿を提出してください。

(2) 発表書類【発表要旨】

ア. A4版タテ2枚で発表書類【発表要旨】をまとめてください。なお、この発表要旨が事前に配布する大会資料となります。

イ. 提出ファイル形式は、Microsoft Word2010を基本とし、旧バージョンでも可能とします。他のソフトで作成希望の方は、中四国ブロック岡山大会実行委員会までご相談ください。なお、イラストレーター等で作成の方は生データおよびPDFの両方を提出してください。

(3) 発表書類【発表用データ】

ア. 発表書類【発表用データ】の使用ソフトはPowerpoint2010を基本とし、旧バージョンでも可能とします。音声・動画を使用する場合は、動作環境および使用機器等を確認するため要相談とします。

イ. 発表時に使用するパソコン、ソフト、プロジェクターは開催県(岡山)で準備します。

ウ. 当日のパソコン操作は、各発表グループの発表補助者が行ってください。

(4) 展示パネル

ア. A1版パネル(縦使い1枚)を会場ロビーに展示します。

イ. 展示資料のデータをメールにて送付してください。開催県(岡山)にて出力します。

なお、用紙・印刷頻度については指定できませんのでご了承ください。

データ量が大きい場合は「宅ファイル便」等のサービスをご利用ください。

ウ. 提出ファイルは作成ソフト生データおよびPDFの両方を提出してください。

エ. パネルは大会中ホールに展示しますが、展示パネルも評価の対象とするため、開会前にパネル見学をお願いします。

資料等の送付先および提出ファイル、各種登録様式は、今後随時ご案内します。

提出書類の各期日は18ページの大会までのスケジュールにて確認してください。

(2) 分科会

4つのグループに分かれて分科会を行います。各自ご希望の分科会にご登録ください。
なお、分科会には定員があります。申し込み多数の場合は、ご希望の分科会に参加できない場合がございますのでご了承ください。

分科会 『地域実践活動報告会&ディスカッション』

定員：37名(9県×4名+特別審査員1名)

各県 審査員1名、発表者1名は必ず参加してください。

その他各県2名まで、計各県4名までの参加とします。

場所：岡山市民会館 204会議室

15:15～15:50(35分)	開会挨拶 報告会の発表を終えての質疑応答
15:50～16:00(10分)	審査員採点、休憩
16:00～16:45(45分)	ディスカッション 閉会挨拶

【内容】

本大会の地域実践活動報告会では、各県の発表者が決められた制限時間内に簡潔に活動内容を伝えることで進行しました。この分科会では、審査員による質疑応答により本審査を行います。また、審査終了後には、実践活動により広がりをもたらす為に参加者同士のディスカッションを行います。

分科会 基調講演『都市の「古層」 岡山城下町から考える』

定員：なし 一般の方にも参加いただく予定です。(入場無料)

場所：岡山市民会館 大ホール

15:15～15:20(5分) 挨拶・講師紹介

15:20～16:40(80分)

講演1(45分)「岡山城下町の成り立ちと特徴」(倉地氏)

講演2(35分)「絵図と遺構からみる岡山城」(乗岡氏)

16:40～16:45(5分) 閉会挨拶・翌日の見学会案内



【内容】

岡山大学附属図書館に所蔵される「池田家文庫」は、江戸時代に岡山地域を支配した池田家に伝来した資料群です。中心は岡山藩政資料約6万8000点ですが、ほかに絵図類が約3000点あり、それらから過去の地域の姿をいきいきとよみがえらせることができます。そのなかには岡山城や岡山城下町を描いた絵図があり、それらを比べて見ることで、城郭や町の成り立ちと変遷についてさまざまな情報を得ることができます。戦災によって失われた岡山城や城下町の姿も、絵図と現在の街を比較することで、あちこちに発見することができます。街のなかに歴史の「古層」を見つけることは、街の魅力を再発見することにつながるでしょう。

【講師プロフィール】

倉地 克直(くらち かつなお) [歴史学者・岡山大学名誉教授]

1972年 京都大学文学部国史学科卒業。

1977年 同大学院文学研究科博士課程単位修得退学。

1980年 岡山大学に赴任。文学部講師、助教授、教授を経て
2015年3月退職。

著書『徳川社会のゆらぎ(日本の歴史第11巻)』2008年(小学館)

『池田光政』2012年(ミネルヴァ書房)

『「生きること」の歴史学』2015年(敬文舎)など。



乗岡 実(のりおか みのる) [岡山市教育委員会文化財課長]

1981年 岡山大学法文学部史学科(考古学)卒業。

1983年 岡山大学同大学院文学研究科(史学)を修了し、
岡山市教育委員会文化課(現文化財課)に学芸員として
採用され、現在に至る。

著書『岡山の古墳 上』『絵図で歩く岡山城下町』(吉備人出版)

『歴史群像名城シリーズ 岡山城』(学習研究社)

[いずれも共著]など。



分科会 ワークショップ ものづくり体験 『伝統構法を学び、刻みを体験しよう』

定員：各県 2 人 1 組。3 人目以降の希望者は各県内で交代にて体験をするか見学での参加は可と
します。

場所：岡山市民会館 4 階大会議室

15:15～15:35 (20 分) 講師挨拶・石端建^{いしばたて}伝統構法の説明・
デモンストレーション
15:35～16:35 (60 分) ワークショップ
16:35～16:45 (10 分) 質問・総評



【内容】

前半は、講師の山本耕平氏・Jonathan Stollenmeyer(ジョン)氏が取り組んでいる石端建伝統構法について学びます。後半は、2 人 1 組ペア (全 8 組) で、手刻みにてホゾとホゾ穴を制作し組み立てを体験してもらいます。「精度」という物が如何に「さじ加減」や「塩梅」といった感覚の上に成り立っているかを肌で感じて頂けたらと思います。

【石端建伝統構法とは】

建築基準法が施工される前、戦前までに日本において木造建築は現在主流の「在来工法」ではなく「石端建伝統構法」にて社寺から民家まで建てられていました。現在では 4 号申請物件に該当しないため構造計算の上、適合判定をクリアしなければ建てる事ができません。筋違や金物、基礎への緊結による剛構造である在来工法に対し、石端建伝統構法は礎石にのせるだけの柱立、木と木による継手や仕口、また貫や竹小舞による復元力特性を活かした軸組、土壁により地震力の減衰を狙った柔構造(散震構造)で、数百年の歳月に渡って継承されてきた日本の誇るべき文化技術です。

【講師プロフィール】

山本 耕平
(やまもと こうへい)

そまこうしや
杣耕社代表
岡山で堂宮大工として修業後、杣耕社を設立。伝統構法での家造りに取り組む。古代製材方法である「杣」に魅せられ日々研究中。



Jonathan Stollenmeyer
(ジョン)

杣耕社大工
アメリカで建築大学卒業後、ニューハンプシャー州にて木造船の製作に取り組む。その後京都の中村外二工務店で修業後杣耕社へ入社。

分科会 講演 & ルネスホール見学 『旧日銀岡山支店の再生・活用、近代遺産と岡山のまちづくり』

定員 100名

場所 ルネスホール(大会会場より徒歩8分)

15:15～15:20(5分) 挨拶・講師紹介
15:20～16:10(50分) 講演
16:10～16:40(30分) ルネスホール見学



ルネスホール外観



金庫棟内部

【内容】

旧日銀岡山支店は、官民連携の中で企画から運営に至るまで市民の手により歴史遺産の保存・再生の道を切り拓き、今もNPOにより管理運営が行われています。数十年の歳月を経て多目的文化施設であるルネスホールを再生されたお話を、設計者の佐藤正平氏にお伺いします。また講演後は、佐藤氏の解説を交え、ホールだけでなく普段見ることのできない金庫棟の見学も行います。

【ルネスホール概要】

ルネスホールは大正11年(1922年)、岡山城二之丸跡に建設され、日本銀行岡山支店として歴史の幕を開きました。設計は当時銀行建築の第一人者だった長野宇平治で、古代ギリシャ様式の意匠が至る所に散りばめられています。正面入口に立つ4本のエンタシス柱は建物に重厚な印象を与え、コリント様式の柱頭飾りや壁一面に張り込まれた御影石、さらにそれを取り巻く波状文様の鮮やかな外観は、壮麗さも漂わせます。内装においても、漆喰仕上げを施した天井や、階段や回廊に取り付けた手すりのデザインなど、随所に高度な施工技術を垣間見ることができます。平成17年(2005年)9月、この大正期の優れた歴史的建造物を後世に残していくため、岡山の新たな文化・芸術の創造拠点「ルネスホール」として生まれ変わりました。

その改修により画期的な活性化が図られ、改修後1年以上を経過した建築物のうち特に優秀な建築物に与えられる、BELCA賞のベストリフォーム部門を受賞致しました。



佐藤 正平
(さとう しょうへい)

【講師プロフィール】

1949年 岡山県岡山市生まれ
1975年 京都大学工学部建築学科卒業
1986年 佐藤建築事務所を設立

【主な受賞歴】

2012年 日本建築学会賞(業績)・BELCA賞・
岡山市景観まちづくり賞等 その他多数受賞

(3) エクスカーション

今大会テーマの「伝統の継承」をより深く体感していただくため、大会2日目の午前中開催にて4つのコースを用意いたしました。各コース定員を設けています。

各コースとも、集合場所等の詳細はお申込み後ご案内いたします。

Aコース 『絵地図を持って歩く、岡山城下町探訪ツアー』

分科会 で行った倉地氏・乗岡氏による『都市の「古層」 岡山城下町から考える』の講演内容を受けて、案内人と一緒に実際に絵地図の町並みを歩いてみるコースです。昔の絵地図とどう違うのか、絵地図の昔に思い巡らしながら岡山の今と昔を体感してください。

8:50 受付 京橋(西側)たもと
林原美術館前広場
城下 禁酒会館横駐車場

9:00 烏城公園・林原美術館 ~ 京橋 ~ 城下 禁酒会館
3グループに分かれて案内します

~ 11:00 頃 解散

[案内人]

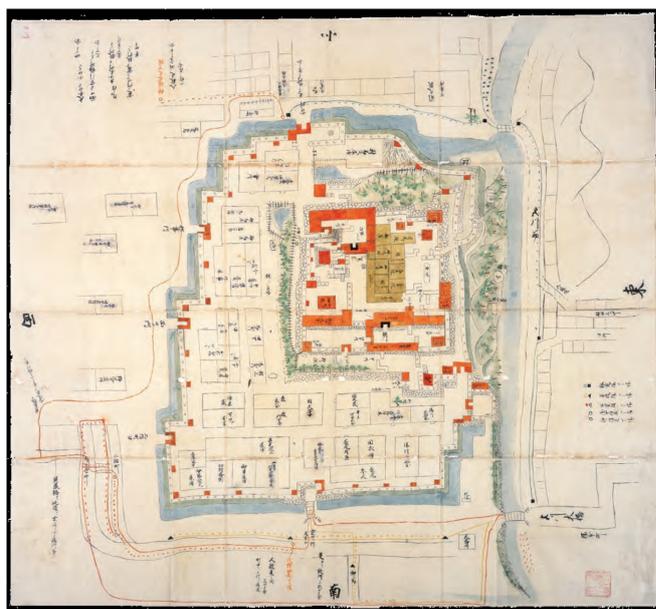
岡山大学名誉教授 倉地克直氏

岡山市教育委員会 乗岡実氏

岡山シティミュージアム学芸員 猪原千恵氏

申込制、定員 75 名 (25 名×3 グループ)

参加費：500 円



Bコース 『岡山カルチャーゾーンの建物探訪』

岡山カルチャーゾーンとは、かつての岡山藩の城下町として栄え、今もその面影を残す岡山の中心部で、地域の歴史、文化、芸術に触れることができる場所です。

その中でも、天神山文化プラザは戦災前に岡山県庁があった場所に、前川國男氏が1962年に図書館を中心とした総合文化センターとして設計した建物です。また、岡山市立オリент美術館は岡田新一氏が1979年に設計した建物で、日本でも有数の“オリент”をテーマとした美術館です。

岡山カルチャーゾーンの中心に位置する岡山を代表する建物を、今回は岡山県立大学名誉教授の山田孝延先生のご案内で見学いただけます。普段入ることの出来ないバックヤードや屋上も見学いただく予定です。屋上から望む岡山カルチャーゾーン一帯の景色は必見です。

8:50 受付 天神山文化プラザ 玄関前広場

9:00 天神山文化プラザ、岡山市立オリент美術館見学

～11:30頃 解散

申込制、定員20名

参加費：1,500円（岡山市立オリент美術館入場料&特別展示会入場料を含む）



Cコース 『岡山城&銘木店見学+備前焼体験』

烏城と呼ばれ旭川を背に立つ岡山城と、出石町界隈に江戸時代から店を構える中塚銘木店を見学します。店の歴史と周辺の移り変わりについてのミニ講演の後、親しみやすい店主による解説付きで、数々の美しく貴重な銘木に実際触れながらたっぷり見学を行います。

また、岡山城天守閣内備前焼工房にて土ひねり体験も行なっていただけます。

岡山城や美しい緑に囲まれた伝統ある銘木店で、ゆっくりと木のある暮らしづくりを一緒に考えてみませんか。

8:50 受付 石山公園（岡山市民会館横）集合

岡山城入口 集合

9:00 岡山城、中塚銘木店見学

岡山城天守閣内備前焼工房にて土ひねり体験（約1時間）

2グループに分かれて岡山城と銘木店を交代で見まわります。

～12:00頃 解散

申込制、定員40名（20名×2グループ）

参加費：2,000円（岡山城入場料・土ひねり体験を含む）

送料別途



Dコース 『後楽園 満喫ツアー』

日本三名園のひとつである後楽園を、後楽園ボランティアスタッフの丁寧な案内を聞きながら巡るコースです。通常の観光では知ることのない話を聞きながら岡山の新しい一面を発見してください。

また、普段は一般公開されていない延養亭や、能の見所である栄唱の間と能舞台も今回特別にご見学いただけます。延養亭は、江戸時代に藩主が後楽園を訪れた時の居間として使われた後楽園でもっとも重要な建物です。

エクスカージョン当日は、昭和37年に始まった行事であるお田植え祭も開催されており、昔ながらの手植えによる田植えと田植え踊りをご覧ください。

8:50 受付 後楽園 正面入口前

9:00 延養亭&栄唱の間・能舞台見学、園内散策

(能舞台見学の際は、靴下の2重履きをお願いします。)

～11:00頃 解散

希望者は、11時からのお田植え祭を見学できます

申込制、定員80名(20名×4グループ)

参加費：1,000円(後楽園入場料・園内施設見学を含む)



5.大会報告

1. 審査員の講評

- (1) 大会終了後に作成する『中四国ブロック大会報告書』に、各審査員による各県発表に対する審査講評、及び報告会全体に対する講評を収録します。
- (2) 書式は大会終了後に中四国理事会MLにて送付します。
- (3) 平成28年6月30日までにメールで提出してください。

2. 青年委員長・女性委員長の大会講評

- (1) 大会終了後に作成する『中四国ブロック大会報告書』に、各県の青年委員長、女性委員長による、大会全体に対する講評を収録します。
- (2) 書式は大会終了後に中四国理事会MLにて送付します。
- (3) 平成28年6月30日までにメールで提出してください。

3. 報告書送付先

中四国ブロック岡山大会実行委員会 E-mail: okayama2016@gmail.com

4. 大会のDVD の配布

平成28年度第2回合同理事会(10月頃)、各県に2セット配布します。

6. 大会までのスケジュール・登録料・交通・宿泊等

1. 大会までのスケジュール

日程	スケジュール
3/7(月)	大会・懇親会・エクスカーシオン 登録案内 発表者・補助者・審査員 登録案内 地域実践活動の発表書類フォーマット 配付
4/8(金)	大会・懇親会・エクスカーシオン 登録締切 発表者・補助者・審査員 登録締切
4/20(水)	大会・懇親会・エクスカーシオン 登録料振込案内
4/28(木) PM 5:00	地域実践活動の発表書類(発表要旨:word) 締切
5/13(金) PM 5:00	大会・懇親会・エクスカーシオン 登録料振込締切 地域実践活動の発表書類(発表用データ:PowerPoint) 締切
5/23(月)	展示資料(A1パネルデータ:PDF) 締切 大会資料(各県地域実践活動発表要旨データ) 配布

大会資料冊子は当日会場にて配布します。

上記日程について変更になる場合は、随時メールにて案内させていただきます。

印の発表書類が期日内に提出されなかった場合は、審査配点の減点対象となります

2. 登録料

大会登録料 ￥5,000

懇親会参加費 ￥6,500

エクスカーシオン 各コースによる

全て事前振込とし、振込後の返金はできませんのでご了承ください。

3. 支払方法について

後日ご案内します。

振込手数料は各県にて負担をお願いいたします。

4. 交通、宿泊について

各県にて対応をお願いいたします。

5. 問い合わせ先

中四国ブロック岡山大会実行委員会 E-mail: okayama2016@gmail.com